

編集・発行：日本家族社会学会研究活動委員会

委員長 田間泰子（大阪府立大学）

Email tama@hs.osakafu-u.ac.jp

日本家族社会学会第29回大会の概要と発表募集

今年度の大会ニュース No.1 をお届けします。日本家族社会学会第29回大会は、本年9月14日（土）15日（日）の両日、神戸学院大学ポートアイランドキャンパス（大会実行委員長 神原文子会員）において開催されます。このニュースでは、大会の基本的な構成と、自由報告・ポスターセッションならびに各種企画セッションの応募と締切のスケジュールをお知らせします。

セッションの企画に応募された方ならびに発表を申し込まれた方との連絡は、研究活動委員会が個別に行います。大会についての会員全員へのお知らせは、今後、学会ホームページやメールマガジン、「大会ニュース No.2」で行います。

1. 大会の構成

- 構成の予定は以下の通りですが、応募数などによって変更する可能性があります。

プログラムは7月発行予定の大会ニュース2号でご確認ください。

第1日目 9月14日（土）

- 10:00-16:30 ポスターセッション（掲示）
- 10:00-12:30 自由報告(1) テーマセッション 国際セッション
- 12:30-14:00 昼食・委員会
- 12:45-13:45 ポスターセッション(質疑応答時間)
- 14:00-16:30 自由報告(2) テーマセッション
- 16:45-17:45 総会
- 18:00-20:00 懇親会

第2日目 9月15日（日）

- 9:30-11:00 自由報告(3) テーマセッション
- 11:15-12:45 自由報告(4) テーマセッション 国際セッション
- 12:45-14:00 昼食・委員会
- 14:00-16:30 公開シンポジウム

- 別途、別刷交換コーナー、書籍販売コーナー、大会報告レジュメコーナーを設けます。
- 最寄り駅から大学までの交通などについては、大会ニュース No.2 でご案内します。

2. 大会シンポジウム「高齢社会における生／死と家族(仮)」について

司会： 山根 真理（愛知教育大学）・佐々木 尚之（大阪商業大学）

パネリスト：朴 京淑氏（ソウル大学）

浅川 澄一氏（医療・福祉ジャーナリスト）

安藤 喜代美氏（名城大学）

討論者： 西下 彰俊氏（東京経済大学）

9期最終年の大会シンポジウムは、人生の後半に焦点をあてた国際シンポジウム企画です。大衆長寿時代における生／死と家族をめぐる事柄は、医療、介護、葬送と墓など多岐にわたり、生活の様々な場面で、先行世代が経験したことの無い新しい家族的経験がもたらされています。本シンポジウムでは東アジアと欧米地域に視野を広げ、国際比較視点をもって「生／死と家族」のテーマを考えます。

パネリストとして、韓国の高齢者論の専門家（社会学・人口学）である朴京淑氏、ヨーロッパの福祉事情に通じ広い視野で介護・福祉システムへの提言を続けておられる医療・福祉ジャーナリストの浅川澄一氏をお迎えし、学会員からは「墓と葬送」に関するテーマの専門家であり米国の家族事情にも明るい安藤喜代美氏に登壇いただきます。討論者の西下彰俊氏には、高齢者、介護のテーマに北欧、アジア諸国との比較視点をもって取り組まれている家族社会学者の立場から議論を深めていただき、世界諸地域で生じている切実で新しい経験について認識を共有する場としたいと思います。

3. ポスターセッションについて

今大会でも、ポスターによる自由報告を公募します。定められたサイズのポスターのなかに、研究成果を分かりやすく提示していただきます。質疑応答の時間には、さまざまな研究者と交流することもできます。ふるってご応募ください。英語での報告も可能です。

4. テーマセッション・国際セッション・ラウンドテーブル・書評セッションについて

さまざまな企画が可能です。昨年度は、【企画全体提案型テーマセッション】「第4回全国家族調査(NFRJ18)に向けて一調査実施に向けた課題と展望」、「「子産み・子育て」に対する養育者・支援者体制・政策の関わり一フィンランド・ニュージーランド・日本の事例から一」、【国際セッション】「高齢化するアジアにおける世代間関係一韓国・タイ・シンガポール・日本の大学生が抱く高齢者イメージからの示唆一」、【ラウンドテーブル】「海外調査を考えている若手研究者のためのワークショップ」が企画されました。

今年も積極的にご提案ください。企画全体や一部の報告を英語で行うことも可能です。研活委員会若手からは、英語での論文刊行のためのラウンドテーブルを企画しています。

(1) 報告者公募型テーマセッション

テーマセッションのアイデアはあるものの、報告者を含む企画全体を提案することが難しい場合に、報告者を広く会員から募る試みです。原則としてオーガナイザーが司会者を務めてください。一定のテーマに基づく報告と討論をねらいとした企画をご提案ください。

(2) 企画全体提案型テーマセッション

一定のテーマに基づいて関連発表を組織し、司会者、報告者、ならびに討論者の有無を事前に企画した上でご提案ください。企画全体や一部の報告を英語で行うことも可能です。

(3) 国際セッション

海外の研究者を交えて運営される企画をお持ちの方は、「国際セッション希望」と明記してください。このセッションで報告なさる会員外の方の資料印刷・通訳などに対し、研究活動委員会に若干の補助金枠があります。どのような資金援助を希望するか明記してください。予算は限られていますので補助がない場合の運営方法も考えておいてください。

(4) ラウンドテーブル

定まったパターンはなく、比較的少人数で、話題提供者の問題提起を中心に、自由にアイデアを交換しあうことが目的です。話題提供者が申し込みをしてください。

(5) 書評セッション

書評の対象とする著書・論文を決定し、報告者・討論者などを選定して申し込んでください。当日の運営は自主的に行ってください。

5. 企画提案・報告申し込み要領と締切について

(1) 自由報告（口頭報告）およびポスターセッション

- 発表申し込み・要旨原稿提出ともに受付開始は4月26日（金）、締め切りは5月30日（木）です。報告題目に必ず要旨原稿を添えて申し込んでください。
- 連名報告は認められていますが、口頭報告では1報告あたりの発表者は1名です。
- 日本語以外に、英語での報告も受け付けます。
- 要旨原稿は、大会ホームページのテンプレートのフォーマットを順守して、作成してください。日本語と英語で異なります。ご注意ください。
連名報告の場合のみ、口頭発表者の前に○を入れてください。
- 提出先は、学会ホームページ <http://www.wdc-jp.com/jsfs/>にある大会ページより、マイページと同じ会員番号とパスワードでログインして申し込んでください。
- ポスターセッションで応募多数の場合、自由報告へ変更をお願いすることがあります。

(2) 報告者公募型テーマセッション

- 報告者を公募するスケジュールの都合上、企画案の募集は大会ホームページとメールマガジンを通して行い、この大会ニュースがお手元に届く前に締め切りしました。採択された企画は、4月上旬に大会HPに掲載します。
- 「報告者公募型テーマセッション」での報告を希望する方は、学会ホームページ (<http://www.wdc-jp.com/jsfs/>)にある大会ページより、マイページと同じ会員番号とパスワードでログインし、希望する企画題目を選択した上で、報告申し込み・要旨原稿の提出を行ってください。受付開始は4月26日（金）、締め切りは5月30日（木）です。
- 応募者多数または企画に不適合等の場合、自由報告に組み込みます。

(3) 企画全体提案型テーマセッション・国際セッション・ラウンドテーブル・書評セッション

- 企画案の受付開始は4月1日(月)、締め切りは4月26日(金)正午です。申し込みの受付窓口は、「日本家族社会学会ヘルプデスク(jsfs-desk@bunken.co.jp)」となります。企画題目と趣旨(800字程度)、オーガナイザー(企画全体提案型テーマセッションおよび国際セッションの場合は、司会者、報告者、討論者を含む)を明記してください。
- 後日、研究活動委員会から企画案の採択の結果をお知らせします。企画が採択されたら、企画全体提案型テーマセッションの報告者の方は各自、オーガナイザーと調整の上、要旨原稿を提出してください。国際セッションは、オーガナイザーが責任をもって報告者全員の要旨原稿を提出してください。締め切りはいずれも、5月30日(木)です。
- 提出先は、学会ホームページ(<http://www.wdc-jp.com/jsfs/>)にある大会ページより、マイページと同じ会員番号とパスワードでログインして提出してください。国際セッションのみ、メール添付にて大会ヘルプデスクにお送りください。

6. その他の特記事項

- 報告者の資格要件
報告者の資格要件は、本学会会員でありかつ定められた会費を納入していることです。現会員の方は、前年度(2018年度)までの未納会費がないよう注意してください。新入会員については、5月10日(金)までに入会手続きを行い、その後会費を納入してください。会費納入期日はいずれも5月24日(金)です。ただし、国際セッションの報告については、会員以外の報告を認めます。
- 大会要旨集(冊子)に広告掲載をご希望の方は田間までメールにてお問い合わせください。

7. 今後の予定について

7月上旬に大会プログラム骨子を、大会ホームページに掲載します。7月中旬には大会ニュース No.2(大会プログラム)を公開します。大会に関する情報は、学会のホームページやメールマガジンで逐次お知らせしますので、ご覧ください。

(研究活動委員長 田間泰子)

8. 大会実行委員会から

大会実行委員一同、神戸学院大学へのご来校を歓迎いたします。

開催地となりますポートアイランド・キャンパスへは、神戸の中心地・三宮から、バスかポートライナーを利用して15分程度で到着いたします。北に六甲山系、西には神戸港を見渡せる落ち着いたキャンパスです。

今年は、ちょうど、3連休の前半2日間の大会ですので、遠方からお越しいただく方々には、翌日、神戸をはじめ、関西での観光を楽しんでいただけないかと思えます。

ただ、近年、関西圏への観光客が増加しておりますので、ホテル等はなるべく早くに予約いただいたほうがよいかと思えます。

少しでもご満足いただける学会大会になりますように準備を整えまして、みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

(第29回大会実行委員会委員長 神原文子)